

■多治比広成 公卿。遣唐大使。

たじひのひろなり

・ ・ ・ ・ ・ 678＝ この頃、多治比嶋の第5子に生まれる。

天武天皇没・ 686＝ 8歳：
・ ・ ・ ・ ・ 687＝ 9歳：

高市皇子謀殺 696＝18歳：

大宝律令・ ・ 701＝23歳：左大臣になっていた父が死去。
持統天皇没・ 702＝24歳：

・ ・ ・ ・ ・ 705＝27歳：

和同開珎・ ・ 708＝30歳：従六位上から従五位下に進み、

平城京遷都・ 710＝32歳：

日本書紀始・ 714＝36歳：新羅使を迎える左副將軍となり、

行基活動禁圧 717＝39歳：正五位下。

・ ・ ・ ・ ・ 719＝41歳：越前守として按察使に任ぜられ、能登・越中・越後3国を管した。
藤原不比等没 720＝42歳：正五位上、

三世一身法・ 723＝45歳：
聖武天皇即位 724＝46歳：従四位下、

長屋王の変・ 729＝51歳：

・ ・ ・ ・ ・ 731＝ 53歳：従四位上へと進み、
第9回遣唐使 732＝54歳：遣唐大使に選ばれ、
風土記完了・ 733＝55歳：*遣唐大使従四位上として、節刀を授けられ、難波津から4船で進発。出発前のに対面した山上臣憶良から献
じられた好去好来の送別歌が「万葉集」に収められている。入唐し、使人として学問僧理鏡とともに菩提僊那
の来日を懇志をもって要請したことがみえる。

・ ・ ・ ・ ・ 734＝56歳：帰国の時、4船そろって蘇州から出発したが、悪風のため漂流し、多禰島(種子島)に帰着、
真備玄昉帰国 735＝57歳：帰京して無事節刀を進め、正四位上に叙せられる。大使の広成に随って、僧玄昉が経論5千余巻と諸仏像を
伴い無事帰国したことが、その卒伝にみえる。

藤原四卿没・ 737＝59歳：*参議となり、さらに、中納言に任ぜられた上、従三位に昇った。
橘諸兄右大臣 738＝60歳：中納言従三位で式部卿を兼任することとなったが、
・ ・ ・ ・ ・ 739＝61歳：中納言従三位のまま没した。
「懷風藻」に「吉野山に遊ぶ」「吉野之作」「述懷」の3首の詩がある。